

## 日本結核病学会九州支部学会

### —— 第69回総会演説抄録 ——

平成24年11月16・17日 於 北九州国際会議場（北九州市）

（第69回日本呼吸器学会九州支部会と合同開催）

会 長 迎 寛（産業医科大学医学部呼吸器内科学）

### —— 一 般 演 題 ——

**1. 免疫抑制状態患者に発症した *M. intracellulare* による縦隔リンパ節炎を伴う肺非結核性抗酸菌症の1例** °掛屋 弘・森永芳智・今村圭文・中村茂樹・宮崎泰可・泉川公一・柳原克紀・田代隆良・河野 茂（長崎大病第2内）

症例は68歳男性。再発性多発軟骨炎に対してステロイド治療を開始後、免疫抑制剤や生物学的製剤も追加された。今回再燃が疑われ、ステロイドパルスなどが施行されたが奏効せず。また胸部CTにて数ミリ大の小結節および縦隔リンパ節腫脹が出現。喀痰塗抹抗酸菌染色では陽性（Gaffky 10号）で、後日 *M. intracellulare* と確認した。治療（CAM, RFP, EB）を開始するも、リンパ節腫脹が持続し胸腔鏡下リンパ節切除を施行。縦隔リンパ節からも同菌（Gaffky 9号）が検出され、リンパ節炎の合併と

診断した。

**2. Schmidt症候群を合併した肺結核の1例** °山田順子・三宅 恵・武原英樹・金 民姫・廣瀬宣之（北九州市立門司病呼吸器内）是木一也（同内）

症例は75歳女性。他院で胸部X線像上の肺病変を指摘。胃液抗酸菌培養陽性・結核菌群PCR陽性より肺結核と診断。当院に転院後、抗結核薬開始。入院後、低血糖（空腹時血糖40 mg/dl台）、血中・尿中コルチゾール低値、低Na血症（126 mEq/l）を認めた。結核性Addison病が疑われたが、CT上、副腎に特記所見を認めなかった。抗サイログロブリン抗体と抗GAD抗体陽性であり、橋本病と1型糖尿病を認め、Schmidt症候群と診断した。Schmidt症候群を合併した肺結核の稀な症例を経験した。